

科学専門家等へ対等に臨む_超偽情報時代での生死に関わる真実公開 2022/4/27
時代はコロナ惨禍にウクライナ戦争加担で一層の混沌時代、危機時代背景は気候悪化進行、
勝機があるとすれば絶滅世代主導で科学技術大動員世界戦時体制構築しかない!
今こそ予測技術こそが生死決定(実態は戦争,戦況等から戦略戦術設計技術)。一つ方法は
絶滅世代が責任指導者決定、象牙塔の科学者等と問題核心の国民的公開議論を推奨、
素人が専門家に立ち向かわねば勝ち目がない!、しかるにその心理補強を考えた。

①絶滅世代<(1)(2)>=現状体制趨勢では気候破滅地球最後に直面する世代、
人格は幼少形成期程に回心は難しい、過去執着では絶滅回避はない、

(1)Z世代=30以下世代。マスメディア離れ顕著。ネット環境情報収集が当たり前、不況期
環境下で育成,比較的に関心強い?、ブランド品にこだわらない?、

(2)ミレニアム(バブル<1991>前)世代=大体30歳から60歳,好況時に育成で苦労無縁?、
現代社会悪役のトップエリートはこの世代と今一つ上世代、

<https://www.job-terminal.com/features/Z%E4%B8%96%E4%BB%A3/>

*裕福過程で育成されると権威追従、他人不幸に非情<二世世襲政治の日本政治惨状>

(3)危機対応能力への懸念<問題発見提案力破壊と過剰知識記憶学習の現学校教育>:

<http://777true.net/The-Wicked-Education.pdf>

権威追従と異端排除,共感と信頼の形成機会破壊,無意識下での自信喪失者の増大

(4)孤独感の強い現日本人<信頼関係不成立の原因>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bee46f6d7929d2483bdb3df2dbcdf6584c905a00>

地域学校職場等の共感信頼形成の場に問題、貧乏時代は開けパなし隣人関係,今は塀、
貧乏時代は過度学習競争がない、経済成長停止後は企業経営も陰険化<非正規雇用>

②絶滅世代は世界未来を知らない?!

コロナ惨禍とウクライナ戦争の隠された真相=気候変動悪化と終末世界!!

<http://777true.net/The-Cause-of-Covid&the-Ukraine-War-were-Climate-Worsening.pdf>

敵も己も知らないので勝てる訳がない<孫氏の兵法>→絶滅世代!

③勝機があるとすれば絶滅世代主導で科学技術大動員世界戦時体制構築しかない!

絶滅世代が責任指導者決定、当該科学者等と問題核心の国民的公開議論を推奨、

*通常これは国会議員と国会議場質疑応答になる訳なのだが、それが無い訳です。

相互信頼構築が鍵、真相告白&宣言に導けば勝機への道が開かれる、過去に真相隠蔽の彼ら
を告白に導くには尋問者に信念自信がなければなるまい。何らかの技術が必要、科学素人の
尋問者に基礎的自信を持つ方法を考えた<付録1,2,3,今後追加予定>。

敵と思ってる相手に教育(指導)はできない、

J.A.C Brown, Technique of Persuasion, Penguin Books Ltd, 1963, UK (Japanese edition-p81)

<http://777true.net/Biden-Zelensky-Putin-Are-All-Agent-Friends-in-invisible-NWO.pdf>

付録 1:論理学と宗教。

概説:我々業務核心は真偽決定作業、その背景基礎原理が**究極の科学**=論理学、

(1)"**真**"=物理的観測可能事象の実現、歴史実現は一個しかない。

☞:観念論形式主義の文学部哲学科論理学では真は無定義、上記は**観測の量子論理**成功に依拠
<http://777true.net/QFTstructure1.pdf>

(2)**矛盾**=事象 A とその否定事象 notA が同時実現は**物理世界 hard** では不可; **言語 soft** の嘘、誤設計
武器商人曰く、「この槍は如何なる盾を貫く」、しかるに「この盾は如何なる槍にも破れない」、
通行人曰く、「ならばその遣りでその盾を突いたらばどうなる??」、.....

http://www.777true.net/Logic-the-most-simple_but-supreme-way-for-recognition.pdf

<http://www.777true.net/Overwhelming-Judgment-of-SCIENCE.pdf>

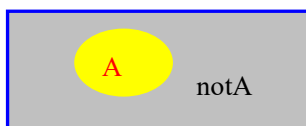
(3)**証明論**:前提 A=真、**推論**<AならばBである>が内容 AB 無関係に真=**恒真式**→結論 B=真。
恒真推論の典型例): **三段論法** A=B,B=C,→A=C::

背理法:Aならば矛盾発生、→正解 notA.

対偶:Aならば B が真の時、→対偶 notBならば notA も真、

参考書:清水義男、p13~15、記号論理学、東京大学出版会、東京,,1984

(3)**矛盾崩壊定理**:矛盾を強制的に真と仮定すると全部事象が真=**何でもあり、無法則、全知全能**



右の箱全部 **U=A+notA**.

矛盾崩壊定理を世間一般適応すると誤設計,故障,誤操作.....

嘘虚偽の徘徊<政治-報道-教育...>は社会秩序等破壊に通じる。

(4)上記(2)の対偶命題としてもし矛盾実現ならば物理世界でない。

→**非物理世界=真空(非可観測)**では無法則-**全知全能!!**

<http://www.777true.net/Proof-on-God.pdf>

<http://www.777true.net/Scientifical-Mechanism-of-Prophecy-by-Paranormalities.pdf>

☞:(1)で矛盾実現の嘘とは言語=物理非実現であり、(3)で矛盾実現=全知全能を真とできるのは非物理だから。

神は見えない、ユダヤ教&イスラム教では見える偶像禁止には深い真相がある。

(5)**無神論は誤り!!**

本物宗教は在ります、仏教は特異で無神論は誤り、例外は法華経、欧米にキリスト教がなければ
トンデモの野蛮国だった。来世は存在し、無神論国日本では救済はないだろう。

(6)**騙し世界は逆さまになる!**→<コロナウクライナ-気候悪化>**現世界筆頭問題!!!**

世界的詐欺脚本家が居て**役者群(政治家-報道-科学者)**が演技、脚本化雇用主こそが世界支配魔王、

(a) **全てが逆さまの諜報世界**, p85,山川暁夫,CIA,教育者,1978,

(b) **世界が今ある様に逆さまならば、真っすぐにせずしてよかろうか.....Edward, Galeano**

(c) **普遍的な欺瞞の時代-真実を語ることは革命的な行為です.....ジョージ・オーウェル**

従来一般人は政治家-報道-科学者を相応に信用して来た訳だが 2020 コロナを起点に一変、
オーウェルの予言世界に遷移してます。

付録2:ノーベル賞学者が大衆に教えない科学真相。

素粒子論完成根拠の判りやすい大局構造的概要:

(1)作用関数一個から力学論の全情報が原理算出, 2022/4/21

高校でニュートン力学学習のはずです、力=質量×加速度.... **運動方程式**、力学理論とは原理上はこれ一つ、人工衛星軌道から高層ビルの振動解析までこれ **1個!!**、ナポレオン時代仏でニュートン力学は解析力学と言う数学形式に、**作用関数**の一個が運動方程式の**支配決定**の基礎になる。その意味は**サイフ**、人は経済行動経路で最小出費最大利益を目指す=経済運動が決定してます。実は素粒子論(電磁場理論,..も)力学理論、作用関数一個から素粒子論の全情報が算出<非本質補足条件も不随>。

* **作用関数の決定原理**が物理核心、それは過去の偉大な科学者が**大昔に大局完成済み!**

(2)電磁力, 原子核中の強弱力, 重力の全統一=一般ゲージ原理(Einstein.内山 1956)

<http://www.777true.net/General-Gauge-Principle.pdf>

(3)一般ゲージ場の量子化原理(Fadeev & Popov1967), 上記を素粒子論化する原理。

<http://www.777true.net/CANONICAL-QUANTIZATION-PRINCIPLE.pdf>

(4)1993 まで局所未完理由=内山理論で重力に一般曲線座標使用→局所直交座標で完成(鈴木)

*1993 年 10 月米上院で 12000 億円素粒子実験装置計画 SSC 中止決定、鈴木論文は 4 月

http://777true.net/GRAVITY_FIELD_as_GUAGE_one.pdf

(5)修理後に以下の**試運転成功**で本物が駄目押し立証(~1995)になってます。

人為仮説模型なしの純力学論としてのビッグバン宇宙創始相転移力学、

物質進化、素粒子質量公式、巨視的近似での古典ニュートン万有引力=重力等、

* **物質進化**: $S_0(11;1) \supset S_0(11) \supset S_0(10) \supset SU(5) \supset SU(3) \times SU(2) \times U(1)$. 専門家はこれ一個で了解

<http://www.777true.net/img008-Quick-Guide-to-Quantum-Gravitational-Dynamics.pdf>

宇宙創始外伝(科学者も言えない究極真相?!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!)

(1)宇宙創始前は無だった、もし無でないとその有はどうしてできたかの質問が可能、

(2)無ならば有は生めないの**因果律=法則** が我々の物質世界に頑固にある。

(3)無の世界に法則があるなどとは言えないが観測の量子論理の公理、その意味は

観測可能量だけ物理法則になる。観測不能=無法則なれば”何でもあり”、→神の創始

(4)一度 0 から観測可能量有が生成するとその**無矛盾性**(A と notA の同時非実現)により

事象一意性が発生、それは無矛盾公理体系=数学記述=物理法則になる。

***無からの創始根拠**: $0 = +E - E =$ 宇宙総エネは物質正と重力負の相殺、その他の保存物理量と言われる運動量, 電荷...等はすべて総和 0. 保存物理量とは例えば物理系が時間推移不変だとエネ保存、空間推移不変だと運動量、**対称性不変**があると対応物理量保存、

***観測可能性=無矛盾性**(実現結果一意性=宇宙秩序!)が核心概念

☞☠: 現世界混沌は**矛盾性(虚偽 fake 支配)**に由来、論理回転なければ破滅に向かいます。

付録3:化学物理基礎の再検証

食品製菓.....、CO2 人工吸収装置、ウイルス防衛等は**化学問題**。その基礎はマイクロ世界の**量子力学-統計力学**、実務有害にまでない？、重大な基礎不備放置が堂々あるので告発。

(非平衡)平衡状態の熱統計力学原理:学識経験のある人向き

熱力学第一法則=エネルギー保存法則: $U=TS-PV+\sum_{j=1}^M N_j \mu_j$ =熱+機械仕事+化学結合力.

①熱力学第二法則:熱サイクルの第二種永久機関は不可能→閉鎖系でのエントロピ増大則

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%86%B1%E5%8A%9B%E5%AD%A6%E7%AC%AC%E4%BA%8C%E6%B3%95%E5%89%87>

マイクロ量子論から熱力学第二法則を導くことは未完成→量子確率過程力学緩和過程解の証明

閉鎖系エントロ最大で時間停止状態=死、論理対偶命題として時間進展状態の生命=開放系になる。開放系とは**出入流れ**を伴う系、生命は原理最初から**細胞の形**になる。

☞:コロナスパイク蛋白質は血流系全域破壊、生命根源を攻撃。病半分？は流れ停滞に起因

生命起源、.....最新知見を紹介、既成学会専門家が触れない**真空偏極事象**等に言及、**化学反応最終生成物は既に真空偏極分子として事前に用意されてる<電子雲先行原理！>**②(2)>

http://www.777true.net/Surveying-on-the-Origin-of-Life_JapaneseV.pdf

海底熱鉱床説が一番説得力があり、素材バラバラでもガラガラガラガラガラ.....ガラガラポン一発で生命分子再生、だが.....生化学者には無神論者が多いが、有魂生命の**見事すぎる環境適合進化**を考えるとガラポン確率で進化は起きていない

②**量子力学**: $\mathcal{H}\Psi(t)=i\hbar(\partial\Psi(t)/\partial t)$:方程式記述は原理簡単だが、水素以外は解けないので.....

対象は原子分子集合体系= Ψ 、{そこでは負電荷電子、正電荷核間に**静電相互作用力<保守秩序力>**+他方**熱運動力<化学反応誘因力>**としての粒子並進回転振動運動も加算}のエネルギー= \mathcal{H} が状態 Ψ に作用、状態 Ψ の形態時間推移= $i\hbar(\partial\Psi(t)/\partial t)$ を支配する。

$\mathcal{H}=\mathcal{H}_0+\mathcal{H}_s$ =定常状態作用<分子秩序形成>+状態遷移作用<電子瞬時移動→化学反応>

* \mathcal{H}_0 は系実現可能状態全部をlist up,各瞬間は一つ定常状態実現だが \mathcal{H}_s で刻々と遷移。

\mathcal{H}_s =内部分子間等,反応での状態**瞬時遷移**を支配、開放系流れでの状態遷移誘導もある

(1)定常状態解: $\mathcal{H}_0\psi_k=(\partial\Psi(t)/\partial t)=E_k\psi_k,.....k=0,1,2,.....$

→ $\psi_k=\exp(E_k t/i\hbar)\phi_k(x)$ =位相回転項×**状態分子形態秩序規定**

(2)状態遷移作用解: $T_{jk}=\langle\psi_j|\mathcal{H}_s|\psi_k\rangle^2,.....$ 電子雲**状態遷移 k→j の確率値** T_{jk} 規定

分子衝突反応等= \mathcal{H}_s で、未来分子形態= \mathcal{H}_0 が**電子雲先行で瞬間に仮想分子**で出現、その後**原子核群**が緩慢に仮想分子の電子雲内部に移るが運動量勢いで定常振動回転。

☞:物質接着剤**素粒子**の電子は**瞬間空間移動**= \mathcal{H}_s 、重量球**複合粒子**の原子核は**準古典力学的連続移動**、

<http://www.777true.net/Real-Image-of-quantum-Chemical-Reaction.pdf>

③**量子確率過程力学**:力学構造が同一でも個別標本の状態は確率分布→**統計集団**を記述

(3)統計集団としての時刻tの**反応速度**: $\Delta t(t)=\hbar/\Delta E(t),...$ 非 Ergord Winer-Kintchin 定理

状態jの時刻tの確率分布関数= $\omega_j(t)$ → $\Delta E(t)$ =**統計集団エネルギー(揺動)偏差値**、

(4)**状態分布進展式**: $\partial_t\omega_j(t)=(\Delta E(t)/\hbar)\sum_j[T_{jk}-\delta_{jk}]\omega_j(t),...$ Master Equation.

Schrödinger 方程式の統計力学形式、状態 j→k 遷移確率 T_{jk} が支配、反応速度は ΔE に比例

(5)閉鎖系一般緩和過程解、初期は**ブクブク反応**でも最後は平衡状態到達停止→**熱力学第二法則**

(6)定常流れの開放系振動解、....摂食と排便のような物を伴う秩序系、地球温暖化は過食で排便困難、

<http://www.777true.net/img007-Quick-Guide-to-Quantum-Stochastic-Mechanics.pdf>

http://777true.net/Quantum-Stochastic-Mechanics_QSM_the-Hidden.pdf

